

『倫理』(倫理 002-901) 原典資料一覧

《教科書紙面に掲載している原典資料(106点)》

★：新規掲載 ☆：引用範囲変更 ◆：デジタル現代語訳あり(25点)

	ページ	タイトル	原典
	11	考える葦	パスカル『パンセ』
★	29	ヘラクレイトスのことば	ヘラクレイトス『自然について』
	32	ソクラテスが語る「魂への配慮」	プラトン『ソクラテスの弁明』
	36	哲人政治	プラトン『国家』
★	38	人間が目指す善	アリストテレス『ニコマコス倫理学』
★	40	快樂主義	エピクロス「メノイケウス宛の手紙」
★	44	天地創造	『旧約聖書』(創世記)
	45	モーセの十戒	『旧約聖書』(出エジプト記、申命記)
	48	隣人愛	『新約聖書』(マタイによる福音書)
	49	よきサマリア人のたとえ	『新約聖書』(ルカによる福音書)
	50	安息日の主	『新約聖書』(マルコによる福音書)
	51	パウロのことば	『新約聖書』(ガラテヤの信徒への手紙)
★	52	原罪	アウグスティヌス『告白』
	55	イスラームの教え	『クルアーン』
☆	62	ブッダのことば	『スッタニパータ(諸経要集)』
★	64	空の思想と唯識説	ナーガールジュナ『中論』／ヴァスバンドゥ『唯識三十頌』
	68	孔子のことば◆	『論語』
	69	非攻◆	『墨子』
	70	四端の心◆	『孟子』
	71	性悪説◆	『荀子』
★	72	格物致知◆	『朱子文集』
	73	老子のことば◆	『老子』
	74	胡蝶の夢◆	『荘子』
	76	芸術の目的	グールド『拍手喝采おことわり!』
★	85	自由意志をもつ人間	ピコ・デラ・ミランドラ『人間の尊厳について』
★	87	信仰義認説	ルター『キリスト者の自由』
★	88	予定説	カルヴァン『キリスト教綱要』
	91	知は力なり	ベーコン『ノヴム・オルガヌム』
	93	哲学の第一原理	デカルト『方法序説』
★	97	自然権としての所有権	ロック『統治二論』
★	99	一般意志	ルソー『社会契約論』
	100	人間の認識	カント『純粋理性批判』
	102	内なる道徳法則	カント『実践理性批判』
☆	103	道徳法則と人格	カント『道徳形而上学の基礎づけ』
★	105	精神と歴史	ヘーゲル『歴史哲学講義』
	105	弁証法	ヘーゲル『精神現象学』
	108	功利性の原理	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』
	109	功利主義道徳の理想	ミル『功利主義論』
★	111	疎外された労働	マルクス『経済学・哲学草稿』
	112	剰余価値	マルクス『資本論』
★	115	真理と有用性	ジェームズ『プラグマティズム』
★	115	道具主義	デューイ『哲学の改造』
☆	117	主體的真理	キルケゴール『日記』
	118	ディオニュソスの陶醉	ニーチェ『悲劇の誕生』
☆	119	超人	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう語った』
★	121	生命の跳躍(エラン・ヴィタール)	ベルクソン『道徳と宗教の二源泉』

★	124	良心のよび声	ハイデッガー『存在と時間』
★	124	実存的交わり	ヤスバース『哲学入門』
★	125	実存は本質に先立つ	サルトル『実存主義とは何か』
★	128	野生の思考	レヴィ＝ストロース『野生の思考』
	129	人間の終焉	フーコー『言葉と物』
★	131	哲学の効用	ドゥルーズ『記号と事件』
★	134	顔	レヴィナス『全体性と無限』
★	135	活動	アーレント『人間の条件』
★	136	コミュニケーション的理性	ハーバーマス『コミュニケーション的行為の理論』
★	137	第二の性	ボーヴォワール『第二の性』
★	137	ケアの倫理	ギリガン『もうひとつの声で』
★	138	言語の限界	ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』
	143	旅人の夜の歌	ゲーテ
	146	15の夜	尾崎豊「15の夜」
☆	155	天と地のはじめのようす	『古事記』
	156	日本人の死生観	加藤周一『日本人の死生観』
	160	「やさしさ」について	太宰治「河盛好蔵宛書簡」
	161	憲法十七条◆	『日本書紀』
★	163	一隅を照らす◆	最澄『山家学生式』
★	164	即身成仏	空海『即身成仏義』
	166	悪人正機説◆	唯円『歎異抄』
★	166	自然法爾◆	親鸞『消息集』
	167	只管打坐◆	懐奘『正法眼蔵随聞記』
★	168	身心脱落◆	道元『正法眼蔵』
	169	立正安国◆	日蓮『立正安国論』
★	170	日本の無常観◆	鴨長明『方丈記』／兼好法師『徒然草』
	172	美しい日本の私	川端康成『美しい日本の私』
	174	上下定分の理◆	林羅山『三徳抄』
	176	孝◆	中江藤樹『翁問答』
	177	誠◆	伊藤仁斎『語孟字義』
★	177	土道◆	山鹿素行『山鹿語類』
	178	先王の道◆	荻生徂徠『弁道』
	180	「もののあはれ」を知る◆	本居宣長『源氏物語玉の小櫛』
	182	商人の道◆	石田梅岩『都鄙問答』
★	183	万人直耕◆	安藤昌益『統道真伝』
	183	人道とは水車のようなもの◆	『二宮翁夜話』
★	185	和魂洋才◆	佐久間象山『省魯録』／横井小楠「佐平太・太平二甥の洋行に際して」
★	188	学問の精神と独立の精神	福沢諭吉『福翁自伝』
	188	近代文明の精神とは	福沢諭吉『文明論之概略』
	189	恩賜的民権・恢復的民権	中江兆民『三酔人経綸問答』
	191	日本人とキリスト教	内村鑑三『代表的日本人』
★	193	社会主義と平和主義	幸徳秋水『社会主義神髓』
★	193	民本主義	吉野作造「憲政の本義を説いてその有終の美を済すの途を論ず」
	194	今の時代は物質的の革命にすぎず	北村透谷「漫罵」
	195	君死にたまふことなかれ	与謝野晶子『恋衣』
	195	私の個人主義	夏目漱石『私の個人主義』
	196	「かのように」の哲学	森鷗外「かのように」
	197	ナイルの水の一滴	志賀直哉「ナイルの水の一滴」
	197	元始、女性は太陽であった	『青鞥』創刊号
	198	純粹経験	西田幾多郎『善の研究』
	200	個人と社会の弁証法的統一	和辻哲郎『倫理学』

	201	民俗学の提供しようとするもの／日本人の死後の観念	柳田国男『先祖の話』
	201	もろともにかがやく宇宙の微塵となりて	宮沢賢治『農民芸術概論綱要』
★	203	思想の根底	北村透谷「国民と思想」
★	203	近代批評	小林秀雄『様々な意匠』
★	204	日本の思想	丸山真男『日本の思想』
	206	別離	中原中也「別離」
★	218	未来世代への責任	ヨナス『責任という原理』
☆	231	遊びとしての文化	ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』
★	235	過去に向きあう	ヴァイツゼッカー「第二次世界大戦終結 40 周年記念演説」

《QR コンテンツ「デジタル原典資料」(81 点)》

★：新規掲載 ☆：引用範囲変更

	ページ	タイトル	出典
★	26	哲学すること	カント『純粹理性批判』
★	28	神話的世界観	ヘシオドス『神統記』
★	31	アレテー	アリストテレス『ニコマコス倫理学』
★	31	不知の自覚	プラトン『ソクラテスの弁明』
★	31	問答法	プラトン『饗宴』
★	34	美のイデア	プラトン『饗宴』
★	37	ポリスと人間	アリストテレス『政治学』
★	40	ストア派の思想	エピクテトス『要録』
★	40	世界市民	マルクス・アウレリウス『自省録』
★	40	懐疑派の思想	セクストス・エンペイリコス『ピュロン主義哲学の概要』
★	44	聞け、イスラエルよ	『旧約聖書』(申命記)
★	47	放蕩息子のたとえ	『新約聖書』(ルカによる福音書)
	47	幸いの教え	『新約聖書』(マタイによる福音書)
★	50	地上の国と神の国	アウグスティヌス『神の国』
★	50	信仰と理性の調和	トマス・アクィナス『神学大全』
	54	正しくつかえるということ	『クルアーン』
★	54	啓典の民	『クルアーン』
★	60	縁起の法	『大蔵経(中部)』
★	60	四諦と八正道	『大蔵経(相応部)』
★	63	般若心経	『般若心経』
★	67	忠恕	『論語』
☆	67	克己復礼	『論語』
★	70	大丈夫	『孟子』
★	70	王道政治	『孟子』
★	70	知行合一	『伝習録』
★	73	真人	『荘子』
★	75	美しいものの判断	カント『判断力批判』
★	84	聖書中心主義	ルター『キリスト者の自由』
★	84	職業召命観	カルヴァン『キリスト教綱要』
★	84	数学のことで書かれた宇宙	ガリレオ・ガリレイ『賈金鑑識官』
★	91	良識とは	デカルト『方法序説』
★	94	知覚の束	ヒューム『人間本性論』
★	96	国家の誕生	ホッブズ『リヴァイアサン』
★	100	永遠平和のための予備条項	カント『永遠平和のために』
★	104	精神とは何か	ヘーゲル『精神現象学』
★	107	共感	アダム・スミス『道徳感情論』
★	107	質的功利主義	J.S.ミル『功利主義論』

★	110	唯物史観	マルクス『経済学批判』
★	113	真理と實在	パース『信念の固定の仕方』
★	113	民主主義と教育	デューイ『民主主義と教育』
★	116	永遠回帰	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう語った』
★	116	運命愛	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう語った』
★	116	開かれた社会への跳躍	ベルクソン『道徳と宗教の二源泉』
★	122	生活世界の探究	フッサール『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』
★	122	死への存在	ハイデッガー『存在と時間』
★	122	自由の刑	サルトル『実存主義とは何か』
★	122	身体の両義性	メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』
★	127	規格化する権力	フーコー『監獄の誕生』
★	134	アウラの喪失	ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』
★	134	見すてられていること	アーレント『全体主義の起源』
★	134	啓蒙の本質	ホルクハイマー／アドルノ『啓蒙の弁証法』
★	140	無知のヴェール	ロールズ『正義論』
★	140	ケイバビリティ	セン『不平等の再検討』
★	154	風土とは	和辻哲郎『風土』
★	159	清き明き心	『古事記』
★	165	専修念仏	『一枚起請文』
★	165	法華経の行者	日蓮『開目抄』
★	170	秘すれば花	世阿弥『風姿花伝』
★	173	存心持敬	林羅山『春鑑抄』
★	176	愛敬	中江藤樹『翁問答』
★	176	仁愛	伊藤仁斎『童子問』
★	179	高く直き心	賀茂真淵『にひまなび』
★	179	漢意の排除	本居宣長『玉勝間』
★	181	正直と儉約	石田梅岩『齐家論』
★	181	報徳	『二宮翁夜話』
★	181	無鬼論	山片蟠桃『夢の代』
★	187	天賦人權論	福沢諭吉『学問のすゝめ』
★	187	一身独立して一国独立す	福沢諭吉『学問のすゝめ』
★	187	東洋大日本国国憲按	植木枝盛『東洋大日本国国憲按』
★	190	道徳としての武士道	新渡戸稲造『武士道』
★	192	教育勅語	「教育勅語（教育に関する勅語）」
★	192	水平社宣言	「水平社宣言」
★	194	自己本位	夏目漱石『私の個人主義』
★	194	内発的開化	夏目漱石『現代日本の開化』
★	194	諦念（レジグナチオン）	森鷗外「予が立場」
★	198	絶対矛盾的自己同一	西田幾多郎「絶対矛盾的自己同一」
★	198	まれびと信仰	折口信夫『国文学の発生』
★	198	雑器の美	柳宗悦「雑器の美」
★	202	天皇制と無責任の体系	丸山真男「超国家主義の論理と心理」
★	215	沈黙の春	カーソン『沈黙の春』
★	230	異文化を表象すること	サイード『オリエンタリズム』